

## 策定の目的

熱海市は、豊かな自然、文化、温泉資源を有し、長年にわたり多くの人々に愛されてきました。しかし、観光業を取り巻く環境は日々変化し、競争が激化しています。この中で、熱海市はその強みを最大限に活かし、持続可能で高付加価値な観光地経営へと進化する必要があります。

本計画は、熱海市が今後5年間で目指すべき観光の姿を示し、観光振興と市民生活の調和を実現するための指針となるものです。観光業の成長が市民生活の質の向上につながり、観光と市民生活が相乗効果を生み出す仕組みを作り上げることが、持続可能な観光地経営のカギとなります。

宿泊税の導入と一般財団法人熱海観光局の設立という大きな変革により、観光行政の推進体制が刷新され、新たな挑戦が始まっています。この変革のタイミングこそが、「温泉観光地 熱海」を「温泉リゾート 熱海」へと進化させる絶好の機会であり、次の100年に向けた転換点だと確信しています。

「温泉リゾート 熱海」の実現は、単なる観光地の施設を整備するだけでなく、観光、インフラ、自然景観、美しい街並みを含む上質な空間づくりが基盤となります。この取り組みを進めるためには、官民双方の投資と協力が不可欠であり、「まちの再設計 (Re:Design)」の理念に通じるものです。

温泉リゾートの実現には時間がかかりますが、日本初の「温泉リゾート」を作り上げるという目標を掲げ、熱海から日本独自の「温泉リゾート」の姿を世界に発信し、次の100年に向けた道を切り拓いていきます。

このような背景のもと、「熱海市観光基本計画 2026-2030」を策定します。

## 計画の位置づけ

本計画は、熱海市が目指す観光振興の基本理念や目標(KGI)を実現するための指針です。観光産業を地域経済の中心に据え、市民生活との調和を図りながら、持続可能で高付加価値な観光地経営を目指します。この計画は、熱海市観光振興条例に基づき、観光産業の発展と地域社会の成長を共生させることを目指しています。

計画の基本理念と目指すべき方向性は、観光政策の骨格を形成し、これに基づき重要成功要因(KSF)や具体的な成果指標(KPI)が設定されます。さらに、観光立国推進基本法の理念を踏まえ、国内外の観光需要を取り込み、地域の持続可能な成長に貢献することを目的としています。

観光政策の実行においては、熱海市が基本方針を策定し、(一財)熱海観光局が具体的な実行を担います。この二重構造により、計画の実効性を確保し、持続的な観光振興を進めて行きます。

## 位置づけ・目標年次



## 目標年次

本計画は、2030年を見据えた取組の方向性を示したものです。

# 目次

## 目指す将来像と戦略方針

基本理念	2
目指すべき姿	3
計画コンセプト	4
重点テーマ	5

## 戦略方針（KSFの設定）

成功要因(KSF)の設定	7
重点テーマとKSFの接続	8
体系図	9
目標	11

## 5つの視点(成功要因)

視点1	13
視点2	15
視点3	17
視点4	19
視点5	21

## 指標の定義・施策評価の考え方

KGIに対する指標・目標値	27
各分野に対する指標・目標値	29
観光政策の評価フレーム	35

資料	37
----	----